

ハート基金&いちサポ補助金
いちかわ市民活動サポート制度



いつも新しい流れがある 市川

2022/10月
No.008

活動
特集

市民活動に活用
「いちサポ補助金」

NPO法人 市川子ども文化ステーション

～つながる!ひろがる!感動体験!～



市民活動全体に対する総合的な支援に向けて
市は、市民活動団体が行う事業のサポートを行うとともに
「①活動する市民を増やす」
「②市民活動のファンを増やす」
といった市民活動全体に対し、総合的なサポートを行うため
「いちかわ市民活動サポート制度（通称：いちサポ）」を
平成28年度に立ち上げました。

— 掲載項目 —

いちサポ補助金交付団体 活動紹介 / いちかわ市民活動サポート制度について

【特集】いちサポ補助金交付団体 活動紹介



いちサポ補助金

× つながる!ひろがる!
感動体験!

市川子ども文化ステーション

理事長 加藤 香都代 氏

2020年に理事長に就任し、会の運営を引き継ぐ。「みる、あそぶ、つどう」を活動のメインとして取り組んでいる。

「異年齢で見る、遊ぶ、話す、作ること」を通して、みんなの自己肯定感を育むことを目的に活動しています。全ての子ども、大人がふれあいの中で育ち、わくわくドキドキ、笑顔があふれる社会の実現を目指しています。

Q&A

活動のアレコレ!

— 会の趣旨や目的は？

市川子ども文化ステーション(旧市川おやこ劇場)は、1983年市川に発足して以来、「子どもたちのために演劇や芸能、音楽などの良質な芸術文化に触れる場を作りたい。異年齢での遊びなどさまざまな体験を通して、**子どもたちの友情と自主性、創造性を育んでいきたい。**」と活動してきました。

そして、今まで培ってきた3地区の活動の経験を生かし、身近な子育て支援をしながら、市川の子どもたちが、安心して人間性豊かに育ちあうことのできる地域社会をさらに広げていくことをめざして活動していきます。

— 「ミニいちかわ」って？

「ミニいちかわ」は、子どもたちがつくる「まち」の中で、自分がやりたい仕事を見つけ、働き、お給料をもらい、そのお金で遊んだり買い物をしたりする、あそびのまちです。仕事の内容も方法も、子どもがつくります。まちの中では様々な問題も発生しますが、それも**子どもたちが自治の力で解決**していきます。小学4年生～18歳の子どもスタッフを公募し、自分がやりたいブースなどの企画を考え、当日に向けて準備をしています。

— 「ミニいちかわ」開催への思い？

かつて、子どもたちは遊びの中から様々なことを学んでいました。しかし今は禁止や管理が多い中で、子どもたちは自由に遊ぶ場所や時間、仲間さえなくなっています。「ミニいちかわ」で、**子どもたちは何をするか自分で考え、自分で決めます。**そして周りの仲間と協力したり衝突したりしていく中で、多くのことを学んでいきます。「ミニいちかわ」を実施していく中で、子どもたちに必要な**生きる力**が育まれていけばと考えております。

補助金の流れ

対象：NPO法人や任意団体

<活動の計画>

年間の活動を会員みんなで検討し、計画を立てます。
また、補助金の活用についても検討します。

<補助金の申請>

補助金を受ける目的、活動することで地域にどれだけの利益をもたらすことが出来るかを申請書でPRします。



<補助金の活用>

実際の事業・活動に必要な経費に対し、補助金を充当することや、これまでから拡充した経費に充当することで、充実や発展を目指します。

本冊子ご紹介の団体での活用例

印刷製本費	プログラム印刷代
使用料及び賃借料	テント・机などレンタル料
原材料費	材料費

<実際の活動>

活動計画や補助金申請の際に記載した事項に則り、実際の活動を行います。



<活動実績の報告>

活動の報告、補助金を活用した費目に係る収支決算書を作成し、実績の報告を行います。

<補助金の受取>

実績報告後、確定した補助金額を市から受け取ります。

※概算払で事前に受け取っていた場合、差額の返金が必要となることもあります。

■ 詳しい内容については「補助金ガイドブック」をご覧ください
ボランティア・NPO課の窓口でお渡し、または市公式Webサイトからご覧いただけます。

いちかわ市民活動サポート制度とは？

NPO法人はもちろん、
任意団体まで幅広く応援します

【市民活動を支える2本柱】

1. 市川市市民活動総合支援基金（愛称：市川ハート基金）

→ 市民からの寄附で市民活動団体を支えるしくみ

2. 市川市市民活動団体事業補助金（通称：いちサポ補助金）

→ 社会貢献に係る事業費への補助をするしくみ

1. いちかわハート基金 の流れ

市民等から
の
ふるさと納税

企業等から
の
指定寄附

いちかわハート基金

使い道の一例

① 団体への備品貸出

市民活動団体がイベントで使用する備品を市が購入し、貸出ます。

簡易テント、スピーカー、マイク、
プロジェクター、PC など

② 活動センターの充実化

作業スペースの充実化として、PCの設置や裁断機、紙折り機等の設置しています。

印刷機も設置し、費用を抑えて印刷することができます。

③ 活動支援講座の開催

財政面、チラシの作成など、講師を招き、団体向けに講座を開催しています。

2. いちサポ補助金 の流れ

市民活動団体からの申請

審査会等での審査

市民活動団体が実施する
社会貢献活動の事業費用
の一部を補助します

事業の考え方

- ・自主的自発的に行われるもの
- ・市内において実施するもの
- ・営利を目的としないもの
- ・市民を主たる対象とするもの
- ・地域の課題、問題が解決されるもの

*対象経費の1/2

*上限30万（3回まで）

*4回目以降は別途審査

